

令和6年度 第2回 名桜大学研究倫理審査委員会 議事要旨

1. 日時：令和6年6月21日（金）16：30～17：30
2. 場所：本部棟4F 第1会議室
3. 出席者：永田美和子委員長、仲尾次洋子国際学部長・国際学部長、大城凌子人間健康学部長、嘉納英明国際文化研究科(国際地域文化システム専攻修士課程、国際地域文化専攻博士後期課程)長、グレッグ美鈴看護学研究科（博士後期課程）長、花城和彦看護学研究科(博士前期課程)長、奥本正スポーツ健康科学研究科（修士課程）長、小嶋洋輔研究所長、木村安貴人間健康学部長（看護学科上級准教授）、池原秀人事務局長、矢野恵美外部審査委員（国立大学法人琉球大学法科大学院教授）、満名悦子外部審査委員（沖縄県民生委員児童委員協議会理事）
4. 欠席者 なし
5. 陪席 金城雄彦地域連携研究推進課主幹、屋部藍華地域連携研究推進課係員、前里貴史地域連携研究推進課係員、比嘉真恵美地域連携研究推進課係員
6. 議事

議事に先立ち、永田委員長より定足数の確認がなされた後、開催宣言が行われた。

【審議事項】

(1) 研究倫理審査について

奥本委員より、資料に基づき人間健康学部教員の研究計画書（1件）の審査について説明があり、審議の結果、2024-008-1について承認となった。委員より、研究課題名が二つあり平易な研究課題名については、依頼者に対し説明を行う時のものと思われるので削除をするよう意見があった。

結果については、下表のとおり。

受付番号	研究課題名	受理日	審査委員会承認日	判定
2024-008-1	「パイナップルから単離した乳酸菌、Lactobacillus paracasei IkeMatsu -1 株を含む飲料の口腔内・腸内細菌叢への影響評価」「平易な研究課題名：パイナップル由来の乳酸菌を含むドリンクを飲むことによるお口とお腹の善玉菌への影響評価」	令和6年5月20日	令和6年6月21日	承認

- (2) 令和6年度大学院生（国際文化システム専攻修士課程）に係る研究倫理承認番号の付与について
- 嘉納委員より、資料に基づき国際文化システム専攻修士課程院生の研究計画書（1件）の審査について説明があり、審議の結果、承認番号を付与することが承認された。委員より、①アンケートにご回答いただくことで、同意しますというチェック欄を設けるようにすること、②17 ページ 5. 重複文字の削除、研究倫理審査申請書 12 ページ 7. (2) 同意撤回の方法について追記をすること、③13 ページ本研究計画の危険性等について（該当するものに○を記入する）は（1）に○の記載をすること、④アンケート調査の研究責任者として指導教員の名前を記載すること、⑤アンケートのおおよその実施時間の記載、⑥23 ページ質問 23～27 の文言を通っている学校または通っていた学校とすること、⑦留学状況については、留学していた、かつて留学していたと文言を変える

よう意見があった。

結果については、下表のとおり。

受付番号	研究課題名	受理日	審査委員会承認日	判定
2024-009	在日中国人留学生の文化適応についての研究～沖縄県を事例に～	令和6年6月17日	令和6年6月21日	承認

#### (3) 学部生（看護学科）に係る研究倫理承認番号の付与について

木村委員より、資料に基づき人間健康学部看護学科生の研究計画書（1件）の審査について説明があり、審議の結果、承認番号を付与することが承認された。委員より、P7、P8 資料 1 依頼書の行間が詰まり過ぎているため、行間を開けて読みやすくすること、研究協力依頼書（研究協力者用）の 16 ページ項目 8、「データは、10 年間保管した上で処分いたします」とありますが、「データは論文等の発表後 10 年間～」に修正をすること、連絡先が、指導教員の研究室の電話番号になっており、会議や講義等に対応できない場合もあるため、不在時の対応について例えば、不在の場合もありますので、折り返し連絡を致します等の記述すること、テーマが長いのでサブテーマを検討するよう意見があった。

結果については、下表のとおり。

受付番号	研究課題名	受理日	審査委員会承認日	判定
2024-010	被災地外救援看護師が活動を通して抱える思いと自己の活動を前向きに捉えていくプロセス～被災地外からの災害派遣を複数回経験した看護師へのインタビューを通して～	令和6年6月18日	令和6年6月21日	承認

#### (4) 学部生の倫理審査について

永田委員長より、学部生の倫理審査について、他大学の倫理審査規程及びホームページから学部生の倫理審査に係る資料に基づき説明がなされた。委員からは、これまで通り、学会発表、学会誌への投稿、大学院への進学希望の学生に対しては、指導教員の指導の下、学科で審査をし、全学倫理審査の基準で承認後研究を開始する方向で進めて欲しいとの意見があった。また全学倫理審査委員会で全学部生の倫理審査を審査する必要はないとの意見があった。審議の結果、今後の方向性として、卒研担当教員の判断・責任の下、学会発表、進学等希望があった場合、学科で承認となった後、全学倫理審査委員会で審査をすることとなった。今後は、基準を明確にし、それに倣い学部生の全学倫理審査委員会の受審について規程を改正する必要があるため、継続審議となった。

### 【報告事項】

#### (1) 審査申請状況について

地域連携研究推進課より、資料に基づき報告がされた。

・人間健康学部審査部会研究倫理審査 審査状況

（6月）審査部会審査2件（結果：承認1件、条件付き承認1件）

#### (2) 令和6年度研究倫理審査委員会審査部会委員研修会の実施状況について

永田委員長より、研修会後のアンケート調査資料に基づき説明がなされた。また部会委員からの質問事項等について、確認がされた。

**【その他】**

(1) 令和6年度第1回研究倫理審査委員会議事要旨について

令和6年度第1回研究倫理審査委員会議事要旨について承認された。